

令和4年度第1回宮代町地域公共交通会議

日時 7月15日（金）10時～
場所 役場202会議室

次 第

1. 委員委嘱

2. 開会

3. 協議

（1）運行ルートについて

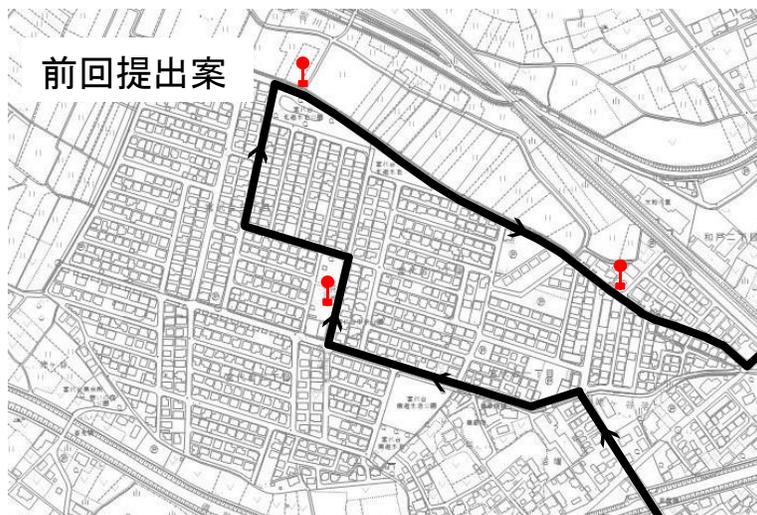
（2）時刻表について

（3）運賃について

（4）車両について

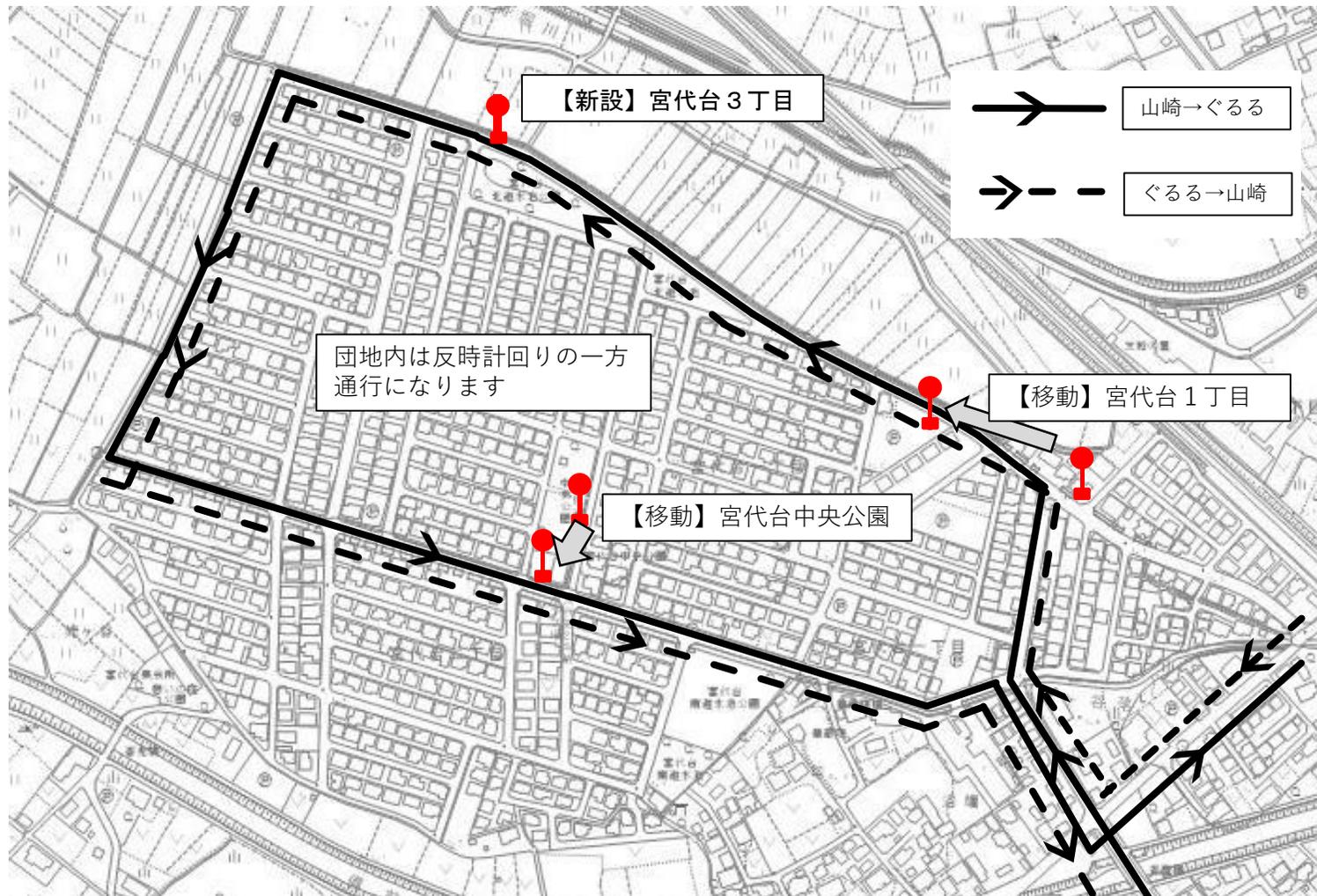
4. その他

(1) 運行ルートについて① ~宮代台外周道路への通行によるルート延長等

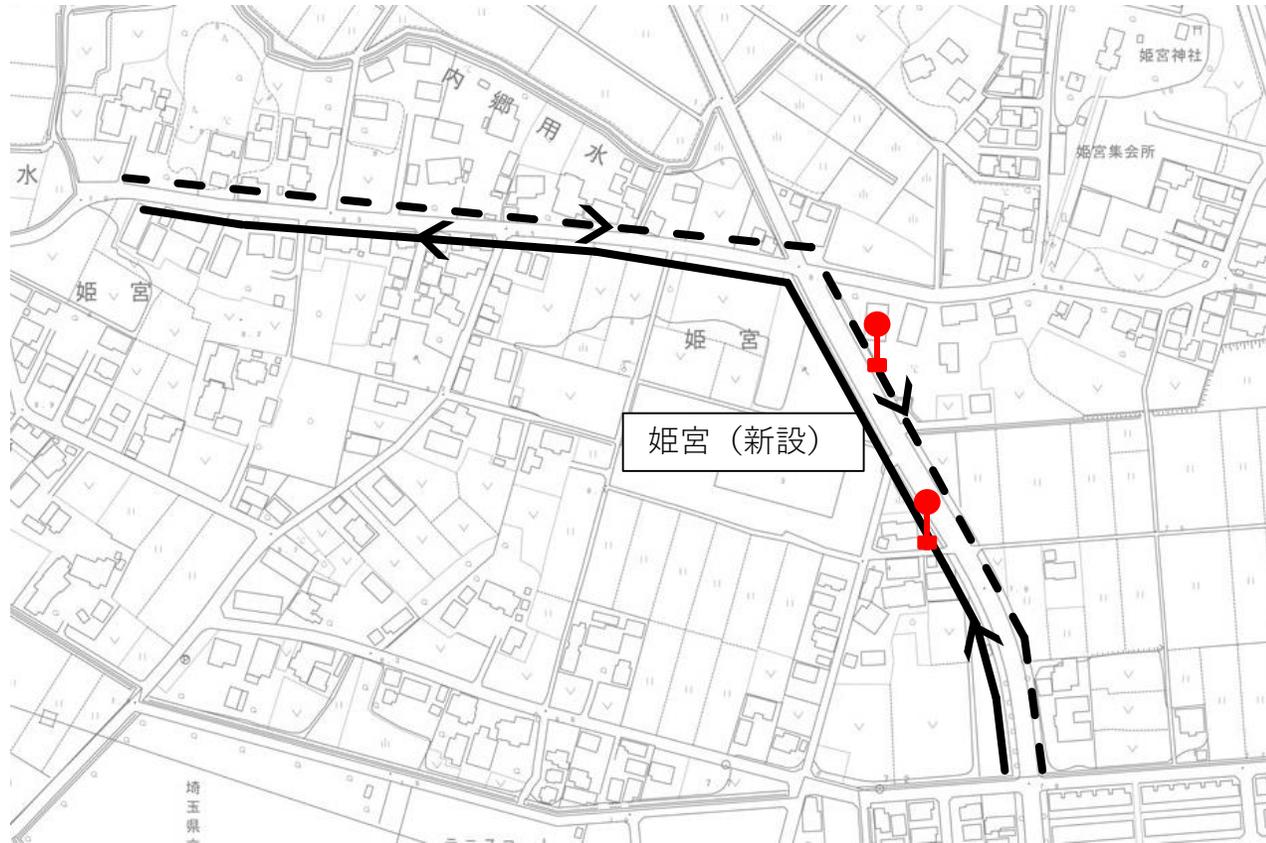


○団地内を縦断するルートから、より安全な外周路（団地内北側から西側への一方通行）ルートとする。所要時間は1分増。

○コース変更に伴い既存停留所の移動（2か所）



(1) 運行ルートについて② ~姫宮地区の福祉施設前にバス停の新設 (ルート上)



現行のバス停 (37番) 姫宮北団地北公園と (38番) 藤曾根の間に新たに「姫宮」バス停を新設。
※このバス停予定箇所は特別養護老人福祉施設の最寄りであり、運行ルート上に設置できるので所要時間に影響無し

(2) 時刻表について

見直しの必要性

- ルート変更にあわせて1分の所要時間増が必要。
- そのため、別紙案のとおり、時刻表改正案を作成。

基本的な考え方

- 始発時間を変えずに、運行時間を50分（もしくは58分）から53分（61分）に変更。
- 次便出発までの間隔を15分に変更

(3) 運賃について

(前回会議) 回数券の見直しを提案

1,000円／14枚 → 1,000円／12枚

回数券の見直しについては再検討

- ・ 人材確保やガソリンの高騰などバスの運行経費は上昇傾向が予測されることから利用者負担の見直しは必要。
しかし、
- ・ 新型コロナウイルス拡大の影響や国際情勢、円安等による物価上昇が暮らしを直撃している。
- ・ 町では、水道料金基本料の免除等、様々な生活支援を実施中
- ・ 回数券利用者は年間利用者の約70%（延べ39,000人）が利用しており影響が大きい。

→運賃の見直し（値上げ）については適時ではないと判断。今後コミュニティバスの抜本的な見直しに合わせて検討していくこととし、回数券の見直しは取りやめとする。

(4) 車両について



座席数を考慮して見直し

会議で協議していただいた車両について再度確認したところ、乗車定員については現行車両と変わらないものの、座席数が減ってしまうことが判明したため、座席数の多い車両へと見直しを行う。

	定員	座席数	車種
現行	29	14	三菱 ローサ
前回交通会議	29	10	日野 ポンチョ (ショート・1ドア)
再考 (案)	33	18	日野 ポンチョ (ロング・1ドア)